



## 広州で4人目のデング熱患者を確診

廣州日報

gzdaily.dayoo.com

2015-09-20

来源: 廣州日報 作者: 伍仞

### 珠江帝景小区のデング熱拡散リスクが高いと専門家

廣州日報訊 (記者 伍仞)

昨日 (9月19日)、広州市で今年4人目のデング熱患者が確診された。これは、現在、潮州市で流行しているデング熱と同一のタイプのものである。情報によれば、確診された患者が働いていた珠江帝景小区では(宮本注: 病気を媒介する)媒介蚊密度が基準の25倍超もあり、住民が密集しており、且つ、潮汕地区(潮州とスワトウ地区)との往来も多い。疾病管理の専門家は、「住民は、感染症を軽視してはならず、積極的に蚊の撲滅活動に協力をすべきだ」としている。

患者は、海珠区珠江帝景小区で働いており、今月16日に発症、病院でデング熱疑いとされ、疾病管理部門が昨日確診した。患者は入院治療を受けているが病状は安定している。疫学調査により、本年になって広州で確認された3名のデング熱患者(全員が白雲区の住民)との関連はなく、発症するまではずっと広州に居り外出はしていないとのことで、本年度広州市におけるデング熱の現地患者として確認された。

広州市CDCの楊智聡副主任は、「この患者が感染していたデング熱のタイプはII型であり、このところ潮州市で流行しているデング熱ウィルスと同型だ。また、広州市で今年初めて見つかったタイプのデング熱患者と言える」としている。同時に、小区内にはもう一名の発症後2日目の疑い例が出ているが、『珠江帝景小区の住民の半数以上が潮汕人だという住民委員会の言を反映すると、患者の出現には住民と潮汕地区の人員が密接に往来していることと関係があるのではと推測することができる。』

省衛生計生委の発表によると、18日までに潮州市では今年に入って既にデング熱患者570人が見つかり、全省の患者数の85.8%を占めているが、広州の30人超のデング熱輸入症例中には既に潮州からの患者が含まれている。

### 小区の媒介蚊密度は『爆表(爆発的発生状態)』

疾病管理部門をして憂慮させるのは、珠江帝景小区の蚊密度が『爆表(爆発的発生状態)』と言ってもよいということだ——本月16日、小区の蚊密度は52匹/時(2匹/時以下というのがデング熱予の防管理要求)となった。2~3日をかけての緊急の蚊対策を経てもまだ基準をはるかに上回っており(24匹/時)、殺虫作業に従事していた疾病管理人員もまた蚊に咬まれた。

楊智聡副主任は、珠江帝景小区内には55棟のタワーマンションに4000戸以上、1万2千人の住民が居住しており、人口は密集、緑化率も高いとし、「蚊密度が極めて高いことと患者が見つかったことから、もしこの地域の予防管理がしっかりできなければ、デング熱が伝播や拡散するリスクは大変高くなる。しかし、市、区と街道の工作人員がこの両日小区内における溜まり水対策をしている中、一部住民がこれに反発・拒絶し、一部住民などは『蚊対策のし過ぎだ』と騒ぎ立てている」という。

楊智聡副主任は、市民は軽視しないようにと訴えている。『これまでの経緯によると、これから10月末まで広州市のデング熱のピーク期に入る』。住民が、迅速に行動し積極的に蚊対策並びに溜まり水の撲滅活動に協力してほしいとしている。

[http://gzdaily.dayoo.com/html/2015-09/20/content\\_3012633.htm?sfinaPub-ins](http://gzdaily.dayoo.com/html/2015-09/20/content_3012633.htm?sfinaPub-ins)

..... 以下は中国語原文 .....

## 广州确诊第四例登革热

廣州日報

gzdaily.dayoo.com

2015-09-20

来源: 廣州日報 作者: 伍仞

### 专家提醒珠江帝景小区登革热扩散风险高

广州日报讯（记者伍仞）昨天，广州确诊今年第四例登革热本地病例。与目前潮州流行的登革热疫情属于同一型别。据了解，确诊病例工作地点珠江帝景小区近日蚊媒密度超标 25 倍，居民密集且与潮汕地区来往紧密。疾控专家呼吁居民不要对疫情掉以轻心，应积极配合灭蚊工作。

### 推测或与潮州疫情有关

确诊病例患者在海珠区珠江帝景小区工作，本月 16 日发病，医院发现疑似登革热，疾控部门昨天予以确诊。患者正住院治疗，病情稳定。流行病学调查发现，其与今年广州确诊的前 3 例登革热本地病例（均为白云区居民）没有关联，近期一直在广州没有外出，因此确认为广州今年第 4 例登革热本地病例。

广州市疾控中心副主任杨智聪介绍，该病例所感染的登革热病毒型别为 II 型，与目前潮州流行的登革热病毒型别相同，也是广州今年首次发现该型别的登革热病例。同时，小区内还有一名已发病两日的疑似病例，“据居委反映，珠江帝景小区的居民有超过一半是潮汕人，初步推测病例的出现可能与居民和潮汕地区人员密切交往有关。我们担心，小区内可能还有其他病例或隐性感染者未被发现。”

省卫计委通报显示，截至 18 日，潮州今年已报告 570 例本地登革热病例，占全省病例的 85.8%。而广州的 30 多例登革热输入病例中也已出现来自潮州的患者。

### 小区蚊子密度“爆表”

更加令疾控部门担忧的是，珠江帝景小区的成蚊密度可称“爆表”——本月 16 日，小区成蚊密度达每小时 52 只之高（2 只/小时以下才符合登革热的防控要求）。经过两三天的紧急灭蚊，仍然远远超标（24 只/小时），入内灭蚊的疾控人员也被叮咬。

杨智聪表示，珠江帝景小区内 55 栋住宅楼、4000 多户、1.2 万居民，人口密集、绿化率高，“在蚊媒密度超高且出现病例的情况下，假如这个点的防控没有做好，登革热传播、扩散的风险非常高。然而市、区和街道工作人员这两天在小区内入户清理积水过程中，却遭到相当一部分居民抵触和拒绝，甚至有居民是认为‘过度灭蚊’。”

杨智聪提醒市民不要掉以轻心，“按照往年规律，现在到 10 月底，都仍然是广州的登革热高发期。”希望居民不要掉以轻心，迅速行动起来，积极配合灭蚊和清理积水工作。